

「嘉田知事との意見交換会～芹川の川づくり～」のまとめ

開催日時：平成 19 年 6 月 3 日（日） 12:30～13:30

場所：彦根勤労福祉会館

1. 開会

予定どおり、12:30に意見交換会を開催しました。約120名の方にお越し頂き、会場は満席になりました。皆さんの芹川の川づくりに対する関心の高さが伺えました。

開会前の会場の様子



2. 嘉田知事の挨拶

嘉田知事から挨拶および芹川の治水に対する考え方を述べさせて頂きました。芹川に対する知事の熱い想いが皆さんにも届いたのではないのでしょうか。途中、昭和28年災害について、皆さまから当時の様子やそのときの感想についてのお話もお聞きました。

昭和28年災害当時の様子を伺う嘉田知事



嘉田知事の挨拶



意見交換の様子



3. 意見交換

短時間ではありましたが、会場の皆さまから意見を頂きました。今回のような意見交換会に限らず、今後とも、皆さまからの意見を頂きたいと思えます。

主な意見（意見票の内容も含む）

- ・ダム建設費を上流だけに投資するのではなく、下流の彦根市の住宅周辺の河川にも投資できないか。
- ・流域の近くに住んでいる者からすれば、大水の度に危険にさらされている思いがする。
- ・ダムの設置は望ましいと思うが、濁水対策として穴あきダムの洪水吐きにゲートを設置し、貯留が可能な構造としてはどうか。
- ・枯枝高木の処理を3～5年の周期で定期的にお願したい
- ・芹川下流には流下能力以上の水は入れないのが基本である。複数の地下放水路を設置することで治水が可能とならないか。

滋賀県では、今後の治水対策として、これまでの対策に加え、「ためる」、「とどめる」、「そなえる」といった総合的な「流域治水」対策に力を入れていきたいと考えております。そのためには、流域住民の皆さんのご協力が必要となります。今後とも、是非一緒に考えていきましょう。

